

より強く「伝える」、「つながる」、「育む」



一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会
会長 森本 昌憲（もりもと まさのり）

あけましておめでとうございます。

昨年はコロナ禍や自然災害に加え長引くウクライナでの戦いから世界的な緊張や不安が拡がり経済への影響、記録的な円安ほか国内外で様々な重大事件が発生して社会的にも混迷を極めた年でした。そのような中 HRS の行事は関係各位、会員の皆様のご協力ご尽力により一部縮小、延期したもののほぼ予定通り実施することができましたことに厚く御礼申し上げます。一方秋からは外国人観光客の受け入れ緩和、全国旅行支援などを機に待ちあぐねていたように人の動きが活発になり観光地、業界も賑わいを取り戻してきました。ホテル、レストラン等ではコロナ禍で縮小した人員規模で急激な需要の増大にいかに対応し受け入れ体制を整えるかに苦労が絶えないところだと思います。今年はこの動きが更に本格化すると予想されることから人手不足を前提としながら新しい視点（イノベーション）を加え各方面での迅速な体制整備、運営の工夫・改革が求められます。HRS としても、昨年国家検定「レストランサービス技能士検定試験」の受検者が相当数減少した現状をしっかりと分析・検証し本年度の実施に活かさなければならないと思います。他の事業についても同様に社会、業界及び関係者などの思いやニーズの変化に対応し「改革」を念頭に進め期待に応えられるようにしたいものです。

昨年、年頭に掲げた「足元を固めて、新しい展開を」をテーマに活動をする中で、新たに「技能五輪全国大会」、「技能五輪国際大会・分科会」の運営を受託し、「技能グランプリ」「HRS サービスコンクール」と合わせ『コンペティションを通じての接客・サービス技能（パフォーマンス）の向上』という大きな柱ができ上がりました。その技術・技能の基盤としての国家検定「レストランサービス技能士検定試験」に加え広く外食産業、外国人就業者、一部専門学校を対象にした「HRS 接客ベーシック検定」も本格的にスタートし『検定・資格による正確で実践的な技能習得（スキルビルディング）』のプラットフォームも拡充し、更に「テーブルマナー講師認定」、「各種個人・企業研修」他の『教育・研修・人材育成事業』とあわせ HRS としての事業の 3 本柱が強化されました。本年はさらにそれぞれの活動について必要な改革を加えながら入念に積み上げること。業界特有でもありますが、往々にして協会・組織内、業界内というように内向きになりがちな面を廃し、社会に対してもっと活動の内容、意義などについて具体的な事例も紹介しながら広く伝え理解、評価、関心を高めること。また活動を通じて個人・法人の会員（企業内及び相互連携）、承認校ほか関係協会・団体とのつながりを一層強くすること。それによってお互いの成長・発展ひいては業界の発展、社会のホテル・レストラン業界に対する理解、関心の高揚に寄与できるようにしていくこと。そこに向けて具体的な計画を立て、会員の皆様と共に進めてまいりたいと思いますので、本年もどうぞよろしくお願い致します。

